

## 文科省・特色ある私大研究支援

# 仁愛女子短大を選定

## 保育士不足解消目指す

保育士不足解消を目指す仁愛女子短大(福井市)の取り組みが、私立大の特色ある研究を支援する文科省の事業に2018年度、全国の短大で唯一選定された。入学前や卒業時、就職後の各段階で「指標づくりは、県内の高校

身に付けるべき能力を明示し、指標化するのが特長。保育士を志す高校生らに将来を具体的にイメージしてもらい、スマッチによる退学や離職の解消を図る。

や連携協定を結んでいる福井市、永平寺町と協力して進める。研究代表者で幼児教育学科の増田翼准教授は「保育士の仕事は『子どもと遊んでいだけ』と思われがち。必要な能力が理解されておらず、



「保育士を養成する高校、短大、保育現場の3者のつながりを強化したい」と話す増田准教授。福井市の仁愛女子短大

『イメージと違う』というミスマッチと保育士不足を助長している」と指摘する。高校、短大、保育現場の各段階で求められる力を共有して「保育士を養成する3者のつながりを強化したい」と話している。独自色ある私立大に年2千

万〜3千万円を支援する文科省の「私立大学研究ブランディング事業」は16年度に始まった。18年度は136大学と21短大が申請し、19年度と仁愛女子短大が選ばれた。支援は20年度まで。

文科省は同事業の新規公募を打ち切っており、17年度までに選定された大学・短大への支援は19年度まで続ける。県内では、超小型衛星を打ち上げ観測データで地域貢献する福井工大のプロジェクトが16年度に選ばれている。(小林真也)